



さとやま

今月の見どころ

里のトンボたち

7月、雨の季節が終わると、センター前のビオトープの池や、ハナショウブが終わった菖蒲池、稲が生えそろった田んぼの上を、様々な種類のトンボが飛び交います。

オオシオカラトンボはお馴染みのシオカラトンボを一回り大きくしたようなトンボです。オスの体の青色が鮮やかで翅のつけ根が黒く、目の色が青のシオカラトンボとちがひ、黒く見えます。シオカラトンボも、オオシオカラトンボもメスは体が黄色のいわゆる「ムギワラトンボ」です。

チョウトンボのオスの翅は、金属光沢のある青紫色です。メスはやや鈍い金緑色になります。蝶のように翅をヒラヒラさせて飛びます。



シオカラトンボ



オオシオカラトンボ



チョウトンボ



ショウジョウトンボ



ヤマサナエ



ヤブヤンマ

ショウジョウトンボのオスは、秋にみられる普通の赤とんぼの仲間より、大きく、赤みが強く、目まで真っ赤です。メスは体が黄色です。

これらのトンボは、オスが縄張りを見渡せる場所にとまっている姿がよく見られます。

トンボの里など、林の中でも色々なトンボが見られます。

ヤマサナエは地面にとまっている姿がよく見られます。オスの縞模様は青白っぽくメスは黄色っぽく見えます。

ヤブヤンマは、オスは縞模様が青緑色を帯びます。写真は産卵中のメスで、模様は黄緑色です。水際から離れた湿土やコケなどに産卵します。

オニヤンマは日本最大のトンボで、メスの方がオスより大きいです。縄張りを見回している姿を見ることが多いですが、休む時は写真のように垂直にとまります。



オニヤンマ

万燈山エリアへ向かう道では、カワトンボのなかまのハグロトンボに出逢えることがあります。

とまっているとき、ときどき翅を広げる仕草をします。

また、モノサシトンボなどのイトトンボのなかまも里のあちこちで見られます。イトトンボのなかまは、交尾のとき写真のようなハート型をつくります。



里には、ご紹介したものの他にもたくさんのトンボのなかまが見られます。探してみてください。

6月の行事紹介



講座「草木染めにチャレンジ!」、儀貝はるみさんを講師に迎え、6月22日(土)ネイチャーセンター研修室において開催しました。

当日は生憎の雨で、染めたい植物を採りに行けず、講師から事前に準備いただいた「クズ」「マリーゴールド」「ビワ」を使い、世界に一つだけのハンカチを作りました。特にビー玉や輪ゴムでの模様づくりは大変でしたが、予想以上によい物ができ、友達に自慢したいと思いました。

7月の行事予定

- | | | |
|--------------------|-----------|----------------|
| ・ジメジメきのこは大にぎわい | 7月 6日(土) | 午前9:30 ~ 11:30 |
| ・水辺のいきもの探し!小川でガサガサ | 7月 28日(日) | 午前9:30 ~ 11:30 |

8月の行事予定

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| ・クワガタ探そう | 8月 4日(日) | 午前9:30 ~ 11:30 |
| ・さとやま工作教室 | 8月 11日(日) | 午前9:30 ~ 11:30 |

※参加受付は、開催日2週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話受付します。

※8月のみ、特別に「ザリガニ釣り」を午前9時から午後4時まで開催します。事前の申し込みは不要です。指定の釣り具を使い「手ぶら」で釣れます。【30円/1回(エサ含む)】

※8月の休園日(8/5、8/13、8/19、8/20、8/26、8/27))

西尾いきものふれあいの里

ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

休日 毎週月曜日及び祝日の翌日 発行 西尾市環境部環境保全課